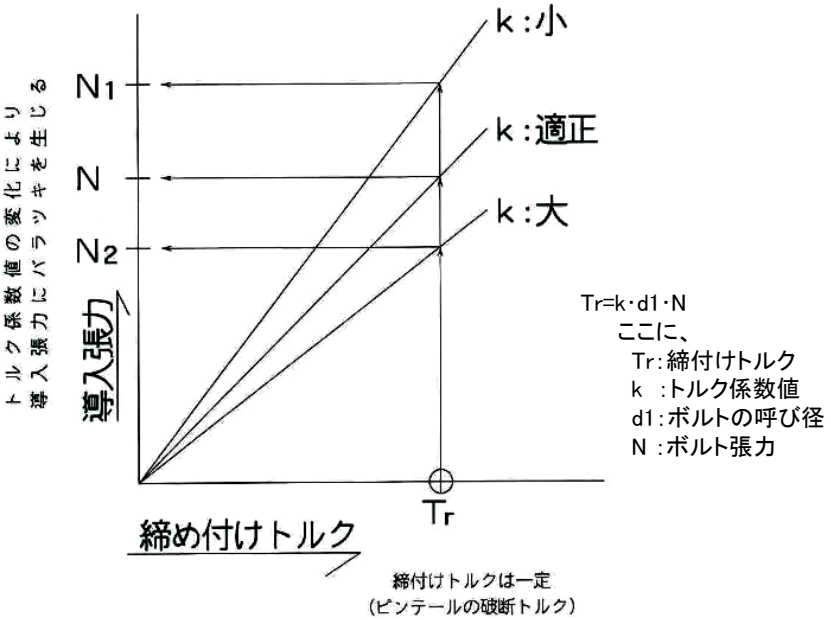
鉄骨工事 Q&A	高力ボルト接合	降雨時	制定	2011年7月1日
			改訂	2024年7月1日

Q. 高力ボルト挿入後、降雨時の処置は？

A.
トルシア形高力ボルトは、降雨・降雪などにより水分が付着すると、トルク係数値が変化して適正な締付け軸力が保証されない恐れがあるので、そのまま使用してはいけません。
挿入済みのボルトは、速やかに締付け途中のボルト群のボルトを締め終わるようにします。1次締めが完了（マーキングまで）している状態で放置されたボルトについては、ねじ部への雨水の侵入を防止し、天候の回復を待って本締めを行います。
降雨により締付けが出来ないときは、シート等を用いて継手部の水濡れ防止の処置を行なわなければなりません。
また、材料の保管中に濡れたおそれのある高力ボルトも同様で、乾燥しても品質が変化している可能性があり、締付け軸力が保証されないので使用しないでください。



トルシア形高力ボルトの締付けボルトと導入張力の関係

グラフはトルシア形高力ボルトによるトルク係数値と導入張力－締め付けトルクの関係を示しています。グラフから判るように、トルク係数値が変化すると導入軸力も変化します。従って、水分の付着等トルク係数値に影響を与える事項が生じることは避けなければなりません。

出典：高力ボルト協会　HP参照